

区民ワークショップ実施報告

3 城東北部地区

第1回：自分たちのまちの魅力と課題を考えよう

第2回：自分たちのまちの「こうしたい」を考えよう

第3回：自分のまちのプロジェクトをまとめよう

城東北部地区は、亀戸地区と大島地区に分かれて第1回から第3回のワークショップを実施しています。

■第1回ワークショップ(オンライン会議) 「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 城東北部地区(亀戸地区) 結果まとめ

■城東北部地区

亀戸古歌謡は、1300年の歴史を誇り4年に一度の大祭では日本に3台しかない「ツヤギ神楽」が明治通りを練り歩く、また五月には武者行列や花火大会が行われる。

亀戸天神は受胎室などを見れば毎年受験シーズンには多くの若者が集む。

亀戸天神・人々が集まり賑やかな場所になっている。

神社などの旧跡

亀戸2丁目団地 広域の一時避難所に指定されている施設が建物で残っている。

亀戸2丁目団地 東京で始めて50年以上前にレジャー付きの高層マンションが建設され、上皇様が土曜の時に滞在にいらしたことがある。

身近な緑が多い団地や小さな公園。緑道など、身近に豊かな緑が多く、心地良い空間になっている。

亀戸橋周辺 地域めざれ、工場がある日曜日には歩行者天国に大混雑すること見物できる。地域の土産屋、居酒屋などの催し物が行われている。

梅置区：地域観光の核として育て上げることが重要
カネアブラジ 江東区の出身者ゆかりの名産のカネアブラジを大手スーパーで販売している。カブト、草紙などの講演を行っている。区民の憩いの場になっている。

ササリ1丁目地 かつて時計工場(精工工業)(最高時給賃金：五千人)、その後ササリイートンビル(シャングレーリービル)などの野村セゾングループの地盤として有名なところだ。江戸時代より横濱・北に比べると賑わいは、区民の重要な交通ノードとして旧態が保たれている。

ササリ2丁目地 都会では少ない緑道

ササリ1丁目地 大塚駅の南側に、大型ショッピングセンターがあることで、この地区の人々の生活圏内であるというR2環状線への人が割合多。

亀戸駅前公館 飲食店を営み人々多くにぎやかでおいしい。

亀戸中央公園は広大な敷地にテニスコート、体育館などの設備があり夏には長泳客が訪れる花火大会も行われる。

旧日立製作所の跡地で、現在は都立公園としてスポーツ、目的別駐車場、区民体育館など多彩な区民のニーズのなかで活躍している。

亀戸中央公園 亀戸の東の端から交通の便が恵まれた繁華エリア。

亀戸の北側は駅に近い商店街が買い物をかきまわして活気がある。

亀戸中央寄り商店街 亀戸の独特な雰囲気と多様な人々が行き交うのが良い。

亀戸餃子船橋屋 昇本、亀戸もルモンでもマミコにも有名な餃子が多種多様なお客さんで人気があります。

区民ホール入口の口狭い狭い路、若い年代のお客や身体の不自由なお客が通るのに北に行かない方がいい。

亀戸車庫口方面 西方向へ一歩 かつてはしゃべんぽん丁などと呼ばれていた安さでお客が来る。仕事終わりのファミリーカーをお客も増えている。

亀戸駅周辺 道路狭く、ローナード老朽化

旧中川 水辺での活動が盛んであり、整備も進行している。

都市政策として長期的視野が必要

亀戸駅北側は木造民家が密集しているが火災や災害の際には被害が拡大する可能性がある。地震に強い建物の取組により、火災時の緊急集合点の確保、消火作業が容易。消防署が救急隊の救急車の着陸、自転車などが妨げられる状況でなくない。

亀戸3・5・7丁目 道路が狭いから、地震対策で古い家の利点が困難になる。

水害想定より高い高層建築物がない、水害時の避難行動不安

多文化(外国人が多い)

異文化の飲食店

多文化(外国人が多い)

異文化の飲食店

[illegible]

■第1回ワークショップ（オンライン会議）「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 城東北部 亀戸地区 意見整理

緑・河川	緑・河川	緑・河川	緑・河川	緑・河川	緑・河川	緑・河川	緑・河川
亀戸 2丁目目地 広域地帯の一帯遊覧所と指定されているが建物が老朽化している	亀戸 2丁目目地 東京都初めで50年以上前にエレベーター付の高層マンションが建設され、上皇様が皇太子の時に参観にこられた	洪水・津波等の避難経路の確保	2丁目目地の老朽化・建替後の遊覧所(遊覧用遊路の協定)	天神街道は防災上脆弱な地域だが、ノスタルジィを感じる魅力的で貴重な財産と感じる	街並み特徴がない(知名度低い) 街並みが(ワ)ワ 景観に特徴がない(マンション開発)	東西交通のアクセスが悪い(河津地域：東陽町、本郷)	都心以外の交通の必要性
緑・河川の利用	身近な緑が多い田畑や小さな公園、緑道など。身近に豊かな緑が多く、心地良い空間になっている	新田の街並みとどのように関係がもたずのポイン	世帯間/文化の違い	天神様、富岡八幡などの、神社仏閣密集：豊洲、両岸地域の高層マンション群 (江戸開港以来の史跡と現代都市を代表するマンション群のコントラスト)	多文化 (外国人が多い) 昔ながらの飲食店	木密・水害	南北の貨物路線(SL)を交通の柱に活用
亀戸は四方が運河(親水・水辺)で囲まれ観光・交通・災害時の輸送等に活用できる	身近な水辺空間(整川、横十間川など) 街中に川が多く走っていると自体が貴重	錦糸町周辺の整川は歩道がない	20〜30代は商業エリアに行くことが多く、文化・歴史を感じる人が少ない	世代間交流や新旧同居者のための魅力・課題共有	都市政策として長期的に防災も重要	亀戸駅北側は民家道家が密集しているが火災や災害時には避難場所がない。南側の駅前には駅と道間に狭まり狭い区画があるが火災時には緊急自動車が入りず、消火作業が困難。道幅が狭い看板、自転車などがかり緊急の場合車高が入ってこない	水害想定工11号 不安
大きな公園(木場公園など) 豊かな緑もあり、憩いの場として使われている	江戸時代までの運河その跡地(水影都市を体現するものとしても貴重)	夢島	新規団地に向けて地域の文化体験	水害想定工11号 不安	水害想定工11号 不安	水害想定工11号 不安	水害時の避難行動計画
魅力	課題	・赤字：事前意見 ・赤字：当日意見					

■城東北部地区(亀戸)

天神橋船着場：街が古いせいか、路地裏も面白い。散策する面白みがある

天神橋船着場：江戸の名所亀戸天神のそばであつたが上へ手くぎあがつてない。端の前も木橋であの上へ手くぎない

明治通り(十三間通、中央通り)：中華料理や東南アジア料理などのエスニック料理店が数店にある
 ☆その辺の地形を心配する人へのことと事実であるが、上手に地域の人と協力して、リノバイナツウ化できれば、人を呼べる場所になるのではないかな
 パリなども地域により様々なエキゾチックな建物がある

亀戸駅前公園：公園内に喫煙所が設置されているところでもその間違ひはあるが、喫煙所の表示と植栽ブロックで簡単に囲まれているだけなので、喫煙の煙、臭気は公園内にダダ洩れ状態となっている
 上記のような状態であるので、喫煙所をオーバーフローし、喫煙エリア以外の公園内で密かに喫煙している。(鈴木町駅前の喫煙所の様式とも違う)

公園近くにて亀戸駅前交番があるが、交番に束縛する警備員車両面から公園脇に駐車しているがアイドリングもない。
 子どもが遊んでいる公園横で、アイドリングのないのはいいかと思う。国産車エンジンでの再起動トラブる車はないと思うのですが

明治通り(駅出口側)：歩道の車道間に駐輪場が設置されている。

駐輪場を利用する人、自転車の人及び行人(自転車)が交差する。駐輪場を利用する人は当然自転車を持っているので避難し、事故の危険も感じられる。
 駅の近傍ではあるが、違法駐輪場の防止を兼ねたものだとはいえない

・緑道(亀戸～大島)：桜並木があるのは良く聞かれているところではあるが、樹木の病気が、害虫による被害等で枯死している樹木が多く、その樹木の管理は怠っているのではなかろうか。樹木は長寿命が多いので、その問題となっている場所もあるが、緑道の採根樹木はどするのでしょうか。植え替えはしないのが一般的

・桜が植えられている周りに地域の住民が草花等を植えてしまっているようだが、それが禁止されるようなものが、そのお蔭で残っていない様子なので、特に植栽等の計画が無ければ、開放でもいいのではないですか

・旧中川丸洗い橋：旧中川に架かる古いお橋は1994年に完成、毎日大勢の人が利用しています。
 ・ライフアットワークを改修後、多様なITミニーションで賑わいます

・旧中川灯籠流し：毎年8月15日に江東区竜虎地区、江川区平井地区で灯籠流しを開催しています

元佐倉道跡石碑：浅間神社境内に1801年建立したものがあつたが、江戸時代には千代田県(高速道路下)にあった。平成元年建立

旧中川「逆井橋」もと「逆井の渡し石碑」平成24年12月に建立。亀戸村と小仏川村を結んでいた。周囲の環境を良くして人に訪れてもらいたい

亀戸9丁目浅間神社：指定文化財有形民俗文化財「東京府あさくさ古道の道標享和元年(1801年)」に建つられ、浅間神社、亀戸天神社、常光寺、芝草へ至る道を案内しこんでいる

浅間神社：東京都の再開発事業計画により富士塚の上の方に移された昭和十一年1月に現在地に移動されました。
 ・豊越の大改築の一の大事の緒くり、真に神話由来の疫病除根、除災招福、家内安全のお祭りです。年末にも茅の輪くぐりを行います(年越し)

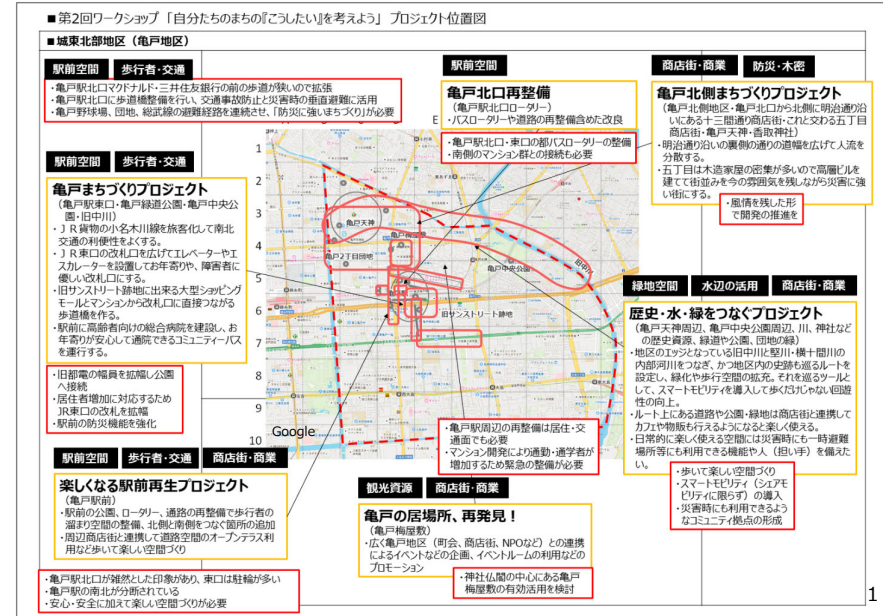
亀戸の富士塚：昭和末に富士塚土壌の上に「富士塚石碑建立」富士塚の正面には銘板掲げたる説明版設置

生活に便利で物価も高い一方で、暮らしやすいという人が多い

凡例
魅力
課題

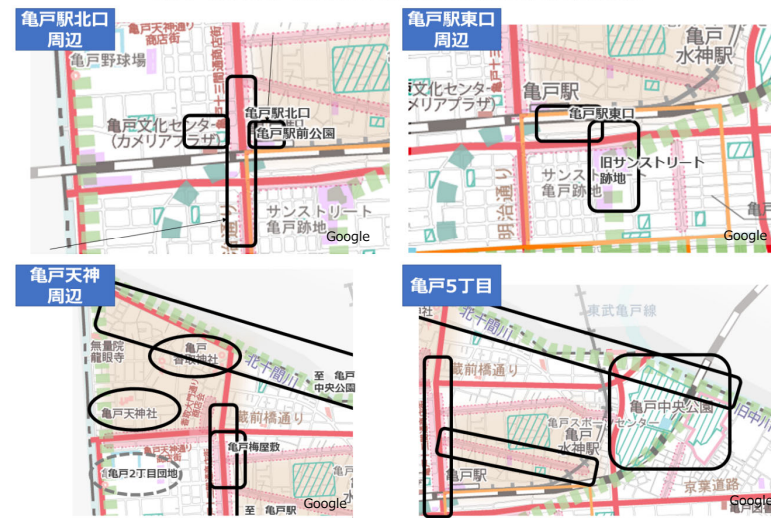
亀戸駅周辺 (北口・西口含む)	滞留空間・賑わい、商店街、緑地
駅前空間 (公園)	■第1回ワークショップ(書面開催)「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 城東北部地区(亀戸) 意見整理 ・亀戸駅前公園：公園内に喫煙所が設置されていることがそもそも間違っているが、喫煙所の表示と植栽ブロックで簡単に囲まれているだけなので、喫煙の煙、臭気が公園内にたまり状態となっている ・上記のような状態であるので、喫煙所をオーバークロス、喫煙ゾーン以外の公園内で堂々と喫煙している。(錦糸町駅の喫煙所の様にしたい) ・公園に近接している亀戸駅前交番があるが、交番に束縛する警察関係車両が公園脇に駐車しているがアイドリングオフとなっていない。子供が遊んでいる公園脇で、アイドリングオフしないのはいかなるものであろう、国産車でエンジンの再起動でトランプする車はないと思うのですが
亀戸中央公園周辺	緑地・水辺空間
その他	歴史資源 ・亀戸9丁目浅間神社：指定文化財「有形民俗文化財」亀戸あさくさ古道の道標享和元年(1801年)に建てられ、浅間神社、亀戸天神社、常光寺、浅草へ至る道を案内したものである ・浅間神社：東京都の再開発事業計画により富士塚の上の方にあった社殿が平成11年1月に現在地に移築されました。 ・夏越の大祓開東一の大茅の輪くぐり。真に神話由来の疫病退散、除災招福、家内安全のお祭りです。年末にも茅の輪くぐりをします(年越) ・亀戸の富士塚：社殿移築後富士塚の上に「富士塚石碑建立」富士塚の正面には弟橘媛由来の説明板設置 観光資源 ・旧中川ふれあい橋：旧中川に架かるふれあい橋は1994年12月に完成、毎日大勢の人が利用しています。 ・ライトアップ照明を改修し、多彩なイルミネーションで橋を彩ります ・旧中川灯籠流し：毎年8月15日に江東区亀戸地区、江戸川区平井地区で灯籠流しを開催しています 緑地空間 ・緑道(亀戸〜大島)：桜並木があるのは良く知られているところではあるが、樹木の病気、害虫による被害等で伐採されている樹木がある。この樹木の処理はどうするのだろうか。樹木はソメイヨシノで、それが問題となっている場所もあるが、緑道の伐採樹木はどうするのだろうか。植え替えはしないのだろうか ・桜が植えられている周りに地域の住民が草花等を植えて楽しんでいるようであるが、それが禁止されたようである。そのあと植栽もされない、開放してもいいのではないだろうか(※亀戸・大島共通意見) 治安 ・明治通り(十三間通り、中央通り)：中華料理や東南アジア料理などのエスニック料理店が散在する ・治安の悪化を心配する人がいることも事実であるが、上手に地域の人と協力して、リトルチャイナタウン化できれば、人を呼べる場所になるのではないのか ・パリーなども地域により様々なエスニックタウンがあるようである 緑地空間 ・緑道(亀戸〜大島)：桜並木があるのは良く知られているところではあるが、樹木の病気、害虫による被害等で伐採されている樹木がある。この樹木の処理はどうするのだろうか。樹木はソメイヨシノで、それが問題となっている場所もあるが、緑道の伐採樹木はどうするのだろうか。植え替えはしないのだろうか ・桜が植えられている周りに地域の住民が草花等を植えて楽しんでいるようであるが、それが禁止されたようである。そのあと植栽もされない、開放してもいいのではないだろうか(※亀戸・大島共通意見) 生活利便性 ・生活に便利で物価も高くないので、暮らしやすいという人が多い 魅力 課題

■亀戸地区 第2回 自分のまちの「こうしたい」を考えよう



城東北部地区(亀戸地区)の検討エリア

第2回ワークショップにて、プロジェクトが多く寄せられたエリアを中心に、検討エリアを設定しました。



亀戸駅北口周辺		■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまともよう」 城東北部地区（亀戸） ※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫色：OH意見
将来イメージ案	将来イメージ（第2回WS意見）	取組
広域的な拠点にふさわしいシンボル性があり、誇り高いまち	- 亀戸副都心化のシンボル - 居住者にも来街者にも楽しい亀戸らしさが感じられる駅前空間（まちのシンボル・誇り）	亀戸駅北口ロータリー整備：バスロータリーと道路の再整備を含めた改良（都バスロータリー及び広場の拡充）。裏手の狭い通りを拡幅し商店街の要素を誘導。区役所の出張所や駅前公園、商店街などの賑わい施設などを結び動線が狭く歩きづらい。駅前ロータリーも狭く車が渋滞し易くなっている。 亀戸駅前公園の整備：喫煙所の移設、公園内での喫煙の禁止。公園脇でのアイドリング禁止。公園内の植栽の見直しなど、亀戸駅から出た時のアイベynchがあるはシンボルする。安心して憩える場所。カメラプラザまでの道を拡幅しアクセスを強化し、シンボルとなる公園を整備し亀戸のイメージづくり。 駅前の医療機能とアクセス交通強化：駅前に高齢者向けの総合病院を建設し、お年寄りが安心して通院できるコミュニティバスを運行する。 越中島貨物線の旅客化：越中島まで通っている貨物線の旅客化
だれもが生活しやすい都市機能が充実したまち	高齢者や障害者でも気軽に使える施設が充実したまち	歩いて楽しい空間づくり：周辺商店街と連携して道路空間のオープテラス利用など歩いて楽しい空間づくり。駅周辺に、居住者・来訪者向けの「楽しい・面白さ」が必要 歩行者天国の運用・体制づくり：日曜日の歩行者天国で大道芸などパフォーマンスを実施することで梅屋敷も含めた賑わい形成が可能（※新型コロナウイルスの拡大で商店街でのイベントは現在中止になっている）。一方、イベント実施には経費面でハードルがある、歩行者天国の運用・体制づくりが必要。 道路再整備とオープンスペースの確保：通路の再整備で歩行者の溜まり空間の整備、北側と南側をつなぐ箇所の追加。理想的な将来像として、歩車を分離し人工地盤で地上に広い駅前広場を整備できないか。 商店街の歩道整備：十三間通り商店街の西側のアーケード、明治通りを東に1m幅拡張歩道を広げる（実現には東京都・JRなどの事業者との協働が必要） エリア間のアクセス強化：エリア間を繋ぐ発想にも必要（例えば、駅から拠点へのつなぎ方）
安全安心に歩いて楽しむことができ、にぎわいが絶えないまち	- 商店街と連携した歩行者志向のまち - 安全安心で楽しいまち - 緑豊かで気軽に散歩ができるまち	

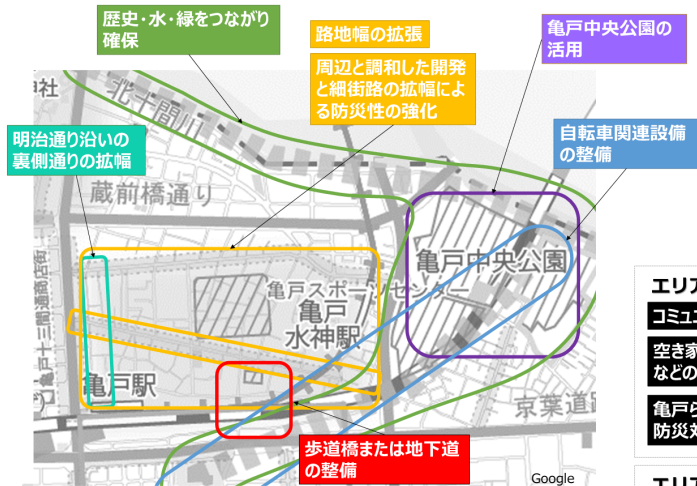
■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 城東北部地区（亀戸）

亀戸駅東口周辺		■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 城東北部地区（亀戸） ※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見＋書面意見 紫色：OH意見
将来イメージ 案	将来イメージ（第2 回WS意見）	取組
広域的な拠点にふさわしいシンボル性があり、安全安心に活動できるまち	● 亀戸副都心化のシンボル ● 安全安心で楽しいまち	東口のバリアフリー：J R東口の改札口を広げてエレベーターやエスカレーターを設置してお年寄りや、障害者に優しい改札口にする。 駅前整備（東口改札幅増）と6丁目再開発地との接続強化：旧サンストリート跡地に出来る大型ショッピングモールとマンションから改札口に直接つながる歩道橋を作る。マンション開発により京葉道路を渡って多くの人がアクセスするようになるため駅前整備（東口改札を広げること）が緊急の課題。京葉道路上に歩道橋を整備することで、駅へのアクセスの向上上です。防災（水害時含む）も機能を持たせる。旧サンストリートと東口改札を歩道橋で結び、駅前じいのエレベーターとエスカレーターにより改札口にアクセス可能にする。 ● 京葉道路の歩道橋老朽化対策：老朽化が進んでいるためインフラ更新が緊急の課題 ● 自転車駐車場と動く歩道の整備：旧都電後の緑道公園を拡張して、自転車置き場を作り、こども二階建てにして西大島の地下鉄まで動く歩道で結ぶ。 ● 緑道公園周辺における遊歩道と駐車場の整備：緑道公園の両側の車道を緑地化し、その中に遊歩道と駐車場を整備 ● 地域の歴史を感じられるシンボル：例えば、精工舎の跡地があることから時計台を設置するなど（渋谷のハチ公像のようなイメージ） 亀戸南側のメーンアップ（例：渋谷ハチ公） 南北のアクセス交通改善：旧貨物線を活用し南北のアクセスを改善できると良い。北口と東口を物理的に繋ぎ、南北接続を強化する。越中島貨物線の旅客化＋20年後はど前から貨物線を通勤線（LRT）に変える議論があった。現在、貨物線は倉庫からのレール運搬に活用されているため、JRとの協議が必要である。 ● エリア間のアクセス強化：エリア間を繋ぐ発想も必要（例えば、駅から拠点へのもなぎ方） ● 集客施設の誘致：地区の東口エリア、南エリアに行政の方で集客施設を誘導できると良い。デジタル技術などを活用した賑わいづくりなども考えられる。 ● 駅前の医療機能とアクセス交通強化：駅前に高齢者向けの総合病院を建設し、お年寄りが安心して通院できるコミュニティバスを運行する。駅前再開発地にもコミュニティバスの停留所を整備する。 ● 歩いて楽しい空間づくり：周辺商店街と連携して道路空間のオープンテラス利用など歩いて楽しい空間づくり
人を呼び込む都市機能が充実したまち	● 高齢者や障害者でも気軽に使える施設が充実したまち	
緑豊かで歩いて楽しいまち	● 地区唯一の緑道公園を活かし、緑豊かで気軽に散歩ができるまち	

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 城東北部地区（亀戸）

亀戸5丁目

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 城東北部地区（亀戸）



エリア全体

コミュニティバスの運行

空き家や木造アパート
などの調査検討

亀戸らしい景観維持と
防災対策の両立

エリア間

エリア間のアクセス強化

11

4つのエリア外

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 城東北部地区（亀戸）

※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見

取組	取組
堅川河川敷公園	堅川河川敷公園の再整備 - 水の循環システム構築：常時水が動いている状況が出来れば、印象はずいぶん変わる。 - 公園内フットサル施設等の見直し：稼働率を検討し、みんなが利用する施設に変更する。親子でボール遊びができるようなスペースでもよい。 - 歩行者・自転車分離と歩行者空間の確保：自転車の通行が多い場所であるため、歩行者との通行帯の分離など安全に配慮する。+堅川河川敷公園は公園ではなく、「通路」である。有料の施設がたくさんあるので、ネットで囲まれていて通路しかない。自転車がかなりのスピードで走っているので、お年寄りには歩けない。歩行者専用でレーンをつくるなどがあると良い。少し広場等があると公園として使いやすくなる。+大島小松川公園まで一気通貫まで自転車で行けるルートがある。横十間を通過して小名木川まで行ける。幅が33mあるが、当時はフットサル等をつくる計画はなかった。 - 夜間照明の強化：防犯上の問題から、夜間の照明等再チェックが必要 - スケートボード施設のルールづくり：若者たちを信じて、スケートボード施設(パーク)(夜間施設)を作っても面白いと思うが、公園内のほかの場所でも滑りそうなので、十分な検討が必要。(時節柄、江東区とスケートボードはむすびつき易いので) また、入口には「スケートボーダー憲章」のようなものを提示してはどうか。

その他意見

- 区内の体育施設が分散して立地している。建物や広さ等レベル差がある。
- ビジョン案が要約しすぎている。WSで出た話のバックグラウンドが最終的なアウトプットに見えてこないのは残念。参加していない区民が見て、議論の過程が分からないのは残念。本編にスライドP.6あたりの少し細かいところ、具体的などころまで載せていただけると良い。
- 詳細は資料編に入れてもらうことも考えられる。

13

亀戸5丁目

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 城東北部地区（亀戸）



12